

海外の話題

Japan–Russia–China International Seminar  
on the Structure and Formation of  
Glasses 参加報告

## ション（神戸大）

- Reverse Monte Carlo 法による無機ガラスの中距離構造（北大）
- ラマン分光法、XPS 及び X 線吸収分光法によるハロゲン化亜鉛基ガラスの構造の研究（大工試）
- ガラス構造の研究への FT-IR、 $^{57}\text{Fe}$ -メスバウアー及び DTA の応用（九大）
- 超急冷して作製した種々の第 2 成分を含むテルライトガラスのラマンスペクトル（阪府大）
- XPS、FT-IR 及び ESR によるバナジウムテルライトガラスの構造の研究（慶應大）
- $\text{Y}_2\text{O}_3$ -BaO-SiO<sub>2</sub> 及び  $\text{La}_2\text{O}_3$ -BaO-SiO<sub>2</sub> ガラスの構造と物性（京大）
- ポリサルファイドラジカルアニオンによるホウケイ酸ガラスの着色（旭硝子）
- ゾル-ゲル法により作製したシリカ薄膜の界面に関する研究（東理大）
- 分子動力学法及び $^{29}\text{Si}$  MAS NMR による Na-Si-O-N オキシナイトライドガラスの構造の研究（北開試）
- SAXS により決定した SiO<sub>2</sub> 及び TiO<sub>2</sub> ゾルのフラクタル構造の加水分解条件依存性（東北大）
- ガラス生成のための臨界冷却速度  $Q^*$  とガラスの熱的安定性  $T_c/T_L$  の関係に関する結晶化速度論的研究（京工織大）
- フッ化物ガラス及びオキシフルオライドガラスの粘度（長岡技科大）

## 2. ロシア

- 分子動力学法によるメタシリケート融液及びガラスの構造の研究（珪酸塩化学研究所）
- ラマン及び赤外分光法によるフッ化物ガラスの構造の研究（極東支部化学研究所）
- NMR によるフッ化物ガラスのイオン輸送と構造に関する研究（極東支部化学研究所）
- フツリン酸ガラスの構造に関する分光学的研究（全ロシア研究センター光学材料科学研究所）
- ガラスにおける構造転移と soft configuration（物理工学研究所）

- ガラスの熱分解過程で生じる構造欠陥（物理工学研究所）
- 単一相ガラスの構造と構造変化（珪酸塩化学研究所）

## 3. 中 国

- $\text{Er}^{3+}$  イオンをドープしたシリカガラスファイバーの光学的性質（中国建築材料科学研究院石英ガラス研究所）
- フッ素をドープしたシリカガラスの研究（中国建築材料科学研究院石英ガラス研究所）
- カルコゲナイトガラスの生成と構造（華東化工大学）
- カルコハライド系ガラス化領域の熱力学的予測（武漢工業大学）
- ゲルからガラスへの変化のクライテリオン（上海光学精密機械研究所）
- ゾル-ゲル法により合成したりチウムアルミニシリケートガラスの構造と性質（中国建築材料科学研究院ガラス研究所）
- ガラスの生成と結晶化（上海光学精密機械研究所）
- 添加物を含むコーチエライトガラスの焼結と結晶化度（中国建築材料科学研究院ガラス研究所）
- コーチエライト結晶化ガラスの高温における微細構造と性質（上海硅酸塩研究所）
- ゾル-ゲル法により合成した PZET 強誘電体薄膜の構造と物性（中国建築材料科学研究院ガラス研究所）

以上の研究論文はすべてプロセーディングスにまとめられ、会場で出席者に配布された。

エクスカーション等は催されなかったが、昼食と夕食を出席者全員による会食形式で行なったため事実上出席者は 3 日間缶詰状態にあってよく討論に打ち込め、またセミナーは懇親の場としても十分機能したものと思われる。

第 3 回同セミナーは来年 1994 年に中国で開催される予定である。次回も日本からの多数の出席者があることを期待する。